

区政リポート 2025年6月号

山本かずひと



新たな会派構成が決定。



新年度が進み、新たな予算が着実に執行されている中、区議会では、任期4年の折り返しを迎えたところで、この度後期2年の会派構成が新たに決定致しましたのでご報告致します。自民党10名（変更無）公明党4名（変更無）維新文京2名（変更無）都民ファースト1名（変更無）文京子育てネット1名（変更無）次に、共産党6名→5名（離脱した一人が新たに、希望のまち文京一人会派を新設）AGORA 5名→4名（離脱した一人が新たに、区民が主役の会一人会派を新設）市民フォーラム1名→2名（文京根っこの会1名が解散をして、市民フォーラムに合流）そして、我が文京永久の会は、西村修議員の逝去によって2名となっていました。そのまま変更無の2名で議会活動を行うこととなりました。以上、会派の多様化により、区政に対してよりきめ細やかなチェックが行われる反面、議会を如何にまとめて区政と向き合っていくかが、大きな焦点にもなりました。私も、これまでの経験を生かして、更に区政を適正な方向へ進めるべく、議会で汗をかくて参りたいと存じます。※写真は、文京花の五大まつりの一つ、文京あじさいまつりです。

東邦音大文京キャンパスの敷地活用について

この度、令和7年度予算において、大塚四丁目にある私立大学を約140億円で取得することとなりました。これにより、区立小中学校の改築工事期間中の代替用地として活用されることで、工事期間の大幅な短縮が見込まれ、学校の老朽化による改築計画がよりスピーディーに順次進められることとなりました。尚、学校改築基本計画のスケジュールや学校環境等の総合的な観点から、まずは小日向台町小学校の改築工事から活用することで調整が進められます。

家庭用生ゴミ処理機等購入費補助金について

家庭から排出される生ゴミの減量化及びリサイクルの推進を図るため、生ゴミ処理機及びコンポスト化容器の購入費用の一部を補助することとなりました。申し込み受付期間は、5月13日～9月30日迄となりますが、予算額に達した場合は受付を終了しますので、ご興味のある方はお急ぎください。対象機器は、令和7年4月1日以降に購入した生ゴミ処理機又はコンポスト化容器+その他付属品となります。補助金額は、購入金額の50%で上限が2万円となります。

詳細については、区役所リサイクル清掃課5803-1135（シビックセンター17階）までお問合せ下さい。

町会・自治会事業補助金について

令和7年度は、毎年実施している町会・自治会事業補助金にプラスして、次に指定する団体と連携して事業を行う場合、1町会あたり1回5万円を上限に2回まで申請出来ることとなりました。※指定する団体：NPO、民間企業、大学、PTA、青少年健全育成会、地域スポーツクラブ等 詳細については：区役所区民課5803-1170までまでお問合せ下さい。

新たな海外都市（パリ市5区）との交流について

令和元年度から開始した駐日フランス大使館との交流を契機に、歴史的及び文化的な共通点の多いパリ市5区との交流を進めて参りました。この度、主に文化及び観光事業での相互協力を促進することを目的として、友好交流に関する覚書を7月7日にオンライン形式で締結する運びとなりました。今後、交流を深めつつ状況に応じて友好都市へと発展することとなります。因みに、現在文京区が友好都市として締結している自治体は、ドイツカイザースラウテルン市、中国北京市通州区、韓国ソウル市松坡区（ソンプク）、トルコ共和国イスタンブール市ベイオウル区となります。